

第10回福智町水と灯火の夕べ
夜空を照らす大輪の花々

8月29日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で「福智町水と灯火の夕べ」が開催され、約800発の花火が町の夜空を彩りました。悪天候のため2年続けて中止となっていた福智の夏の一大イベント。今年はやぐらを囲んだ盆踊りは残念ながら中止となりましたが、小雨の中、花火大会は決行しました。町民の“憩いの場”となっている河川敷には足元の悪い中約200人が訪れ、打ち上げられた3号玉やスターメインなどを観賞し、過ぎゆく夏を惜しむひとときを味わいました。



← 約20分にわたって打ち上げられた色鮮やかな花火が福智の夏夜を鮮やかに染め上げました。

↓ 事例や自身の体験を織りまぜ、防災や避難のポイントなどを講じる浦野次長。



福智町「防災の日」講演会
みんなの力を防災の力に

地域交流センターで9月1日、町主催の防災講演会が行われました。この講演会は7月24日を「防災の日」と定めた記念として昨年初開催されたもので、今年は田川地区消防本部次長の浦野洋一郎氏が「福智町における地域防災」と題し講演。消防人生37年で培った経験を元に、約300人に早めの避難や備えの必要性、共助による地域防災の強化を呼びかけました。

↓ インストラクターの坂巻寿代さん指導のもとボールを使ったピラティスを体験。



子育て支援センター「楽しくリフレッシュ」
子育てママたちの癒しのひととき

未就学児とその保護者を対象に毎月楽しい催しや育児相談などを行っている子育て支援センター。9月11日にヨガなどを取り入れた身体調整プログラム「楽しくリフレッシュ」が行われ、10組の親子が参加しました。日々の育児で“肩こり”や“腰痛”が気になるというママたちは、和やかな雰囲気の中で簡単に行えるエクササイズを行い、心身共にリフレッシュしていました。

↓ ステージを降り一人ひとりの声援に応える藤かおりさん。「福智音頭」や「福智山笠」などを披露しました。



平成27年度福智町敬老会
長年の功績に感謝して

9月13日に金田体育館で町主催の「福智町敬老会」が開催され、70歳以上の町民約700人が参加しました。多年にわたり社会に貢献してきた先輩がたに感謝と敬意を表すとともに、長寿をお祝いする恒例行事。今年初めて企画されたカラオケ大会では、自ら応募した73歳から93歳までの8人が出場し自慢の歌声を披露。会場に華を添えた出場者たちに大きな歓声を送られました。演歌歌手の藤かおりさんによる11曲に渡る歌謡ショーも行われ、笑顔と感動につつまれた敬老会は今年も大盛況のうちに幕を閉じました。

福智町消防団統一訓練
町の安心・安全のために一致団結！

消防団員の技術の向上を図るため、9月13日に町消防団の統一訓練が行われました。林野火災を想定し、傾斜の多いふれあい塾で金田分署職員の指導のもと消火訓練を実施。約250人の団員たちは起伏のある地形に苦労しながらも、500mの距離を素早くホースを連結し放水を行いました。町消防団は万一の事態に備え、分団を超えた連携を強化しています。



↑ 集中力を高め、約20分先に設置した消火目標点を目掛け放水する町消防団員。

地 弁城春田地区の「六夜様」
地域と世代をつなぐ伝統行事

春田地区で数百年にわたり伝えられている「六夜様」が8月29日に春田集会所で行われました。特設ステージではこの日のために練習を重ねた地域のスター23組が歌や踊りなどを披露。多彩な演目が約3時間にわたり共演した伝統行事は全員での餅まきで締めくくられ、今年も熱く盛り上がりました。※この祭は福智町振興事業等補助金を活用して行われました。



↑ 息ぴったりダンスを披露した春田のアイドルに、おひねりが飛び交いました。

↓ 2日目に多目的棟内で窯元から直接手ほどきを受けながら陶芸体験を行う児童。



福 弁城小学校宿泊体験活動
福智の大自然で学んだ4日間

8月24日から3泊4日の日程で、弁城小4～6年生がふれあい塾で自然体験活動を行いました。24人の元気な子どもたちは鮮やかな緑の芝生の上で思いっきり遊んだり、班で協力して野外炊飯をしたりして町の自然を満喫。日頃できない肝試しや上野焼の陶芸体験なども行い、仲間と思いっきり楽しみながら町の自然と伝統に触れた貴重な4日間を過ごしました。